事業番号	08 03 09	事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求 🗆	]予算案 ■点検	
事業名		発生予察事業		部局	農政部	
尹 未 乜		光生了杂争未	担当	課∙室	農業技術課	
<参考>	プロジェクト		課	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業				
	旭泉の松白的展開	自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H16 ~	

## 車番の軸車

事未の	<b>似安</b>								
目指す姿	農作物の生産確保と品質向上を図るため、病害虫の発生状況を的確に前もって推察(予察)し、予察情報に基づいた効率的かつ効果的な病害虫防除の推進を目指す。 特に、全県的に栽培がされている水稲については、「いもち病」や「斑点米カメムシ類」の防除が課題となっており、的確な予察情報等の提供と予察情報に基づいた防除により、まん延防止を目指す。 本県の農業生産上、課題となっている病害虫の防除に必要な農薬について、その効果等の試験を積極的に行い、農薬メーカーへ提供することで、登録の拡大を目指す。								
現状	<ul><li>○近年、地球温暖化等の影響により、病害虫の発生時期や発生回数等が変化しており、従来の防除時期では適期防除ができない場合もあることから、予察情報に基づく防除が重要となっている。</li><li>○これまで確認されなかった新たな病害虫の確認や発生が少なかった病害虫が多発生する中、新たな農薬の登録に対する要望が増加している。</li></ul>								
県が関与する理由	■法令等義務 □内部管理 □民間、市町村でも実施可能だが □その他(		はければ実施不可 その必要性有	「【左記の説明、根拠法令等】 発生予察事業は、植物防疫法に基づき都道府県が実施することとされている。(植物防疫法) 農薬登録拡大をするためには、「農薬の登録申請に係る試験成績について」 の運用に基づき、都道府県の農業試験場等公的な機関が行った試験成績の 提出が必要である。(「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用通 知)					
	<ul><li>① 成果目標(H24)</li><li>○水稲の「いもち病」による被害の発生割合: 18.5%</li><li>○水稲の「斑点米カメムシ」による被害の発生割合: 5.5%</li></ul>								
	② 事業内容					ı		単位:千円)	
	項目	実施方法		H24事業実績		(当初)	(決算)	H25 (当初)	
	病害虫発生予察の推進	直接	病害虫発生予察は	ま場等の設置及び調査(	43ヶ所)	5,175	4,756	5,493	
	植物防疫総合情報ネットワークへの加入	直接	日本植物防疫協会 システム(JPP-N	会が提供する農薬登録情 (ET)への加入	報等の検索	378	378	378	
事業内容	発生予察技術の確立及び実証	直接	病害虫の発生予察方法(手法)等の確立 イネいもち病の発生予測			280	280	232	
ナベバロ				設置及び病害虫防除員の設置区域 でき、市町村区域内で防除指導等 員(87名)の設置			410	405	
	ミバエ等侵入警戒調査	直接	チチュウカイミハ'エ、コト'リンカ'、火傷病、すいか果実汚斑細菌病の侵入警戒調査(調査ヶ所数:62ヶ所)			253	253	253	
	農薬登録拡大推進事業補助金 ((社)長野県植物防疫協会)	補助	本県が重点的に第業務を行う県植物	2,000	2,000	2,000			
					合計	8,496	8,077	8,761	

	≥	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度
	_		前年度繰越				
	予算		当初予算	9,370	9,010	8,496	8,761
事	額		補正予算				
業			合計(A)	9,370	9,010	8,496	8,761
^			国庫支出金	5,080	4,873	4,641	5,269
□	Aσ		県 債				
7	財源ス	亰	その他()				
^			一般財源	4,290	4,137	3,855	3,492
۲	決	央 算 額(B)		9,261	8,306	8,077	
		算	職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00
	人件		概算人件費 (C)	66,536	66,064	66,064	66,064
	概算事業費(B(A)+C)		75,797	74,370	74,141	74,825	

成果目標の達成状況							
項目	現況		H25				
供日	(見込)	目標	成果	達成状況	目標		
いもち病発生割合	19. 0%	18. 5%	16. 5%	達成	18%		
斑点米カメムシの発 生割合	5. 7%	5. 5%	6. 9%	未達成	5%		

目標に対 する成果 の状況 いもち病については目標を大きく上回る成果となった。 斑点米カメムシについては、発生予察に基づき注意報を発表し防除の徹底を呼び掛け防除が実施されたが、例年にない気象の影響(高温)により、昨年度より発生が拡大し未達成となった。

## 2 今後の事業の方向性

<u> </u>	スマノニ	F木ツハドル							
<b>企</b> 级 建	= <del>***</del>	□ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	■ 事業を現行どおり実施					
今後、事をどのよ	*未 こう								
にしてい	き	農作物の生産確保と品質向上に向け、引き続き重要な病害虫の予察を実施していく。							
たいか。	'								